

## Y22a 地域活性化に繋がった天文台 20周年記念イベント

矢動丸泰，山内千里（紀美野町みさと天文台），ほかイベント関係者一同

紀美野町立みさと天文台は、1995年7月7日に旧美里町の施設としてオープンした。2015年7月に実施する20周年記念イベントが天文系講演会のような内容では、限られた天文ファンが喜ぶだけである。そうではなく、一人でも多くの町民が関わり、幸せを感じ、町の活性化にも繋がるものを目指して、結婚式イベントを実施した。

町内で説明会を開催し、多数の事業者やボランティアによる協力体制を作り上げることができた。挙式者は広く公募し、志望動機等をもとに紀美野町民を含む2組を選抜した。天文台では結婚式のみを時間差で実施し、食事会も町内2か所の別会場で行った。式には親族や友人以外に町内の方など約200名が祝福に訪れた。

結婚式はマスコミで多数取り上げられた。月食饅頭の広告効果（2015春季年会 Y29a）と比べ全国規模では減少したものの、地方局では増加した。特徴的なのは、取り上げられる期間が長期化（半年余り）した事である。こうした天文台観点の効果以上に、町全体へ波及する影響のあったことが、本イベントの最大の効果である。

結婚式をきっかけに天文台を含む業種を超えた町内の横の繋がりが出来た、例えば、きみのピクニックフェスタや、ふたご座流星群イベントなど、事業者が【一緒に】何かを作り上げる雰囲気が出来た。さらに事業者自らが「星空を観光資源として活用しよう」との思いに至り、流星群イベント実行委員会を立ち上げ、事業者を中心に準備が進められた。天文台は企画を提案しただけである。自らが事業主の実行委員長は教育にも理解がある。20周年イベントが地域活性化の起爆剤となり、天文教育活動を含めた様々な町内プロジェクトが動き始めている。

本講演では、イベントの様子や経済的効果、実行委員会が考える天文イベントの目的などを紹介するとともに、今後の計画や活動の問題点や課題も合わせて議論する。